

みやき町

もしもの
災害に備えて!

防災マップ



■もしもの災害に備えて、連絡先を記入しておきましょう。

保存版

見える場所に保管して
お使いください。



町民の皆様へ

「みやき町 防災マップ」発刊によせて

この「みやき町 防災マップ」は、町民の皆様には災害に関する基本的な情報を提供し、事前の備えとして役立てていただくことを目的に作成しました。

様々な災害に対する知識と備え、並びにみやき町における災害危険想定箇所（浸水想定区域、土砂災害警戒区域）や避難場所などを掲載しています。

近年、大規模災害と呼ばれるような大雨や地震が全国各地で発生しており、災害はいつ、どこで発生するかはわかりません。平常時から「自分の命は自分で守る（自助）」、「自分たちの地域は自分たちで守る（共助）」の取組により、災害時の被害を最小限に抑えることができます。

いざというときのために、日ごろから町民の皆様には「災害の備え」として広く活用され、ご家庭や地域における防災力の強化に役立てていただきたいと思います。

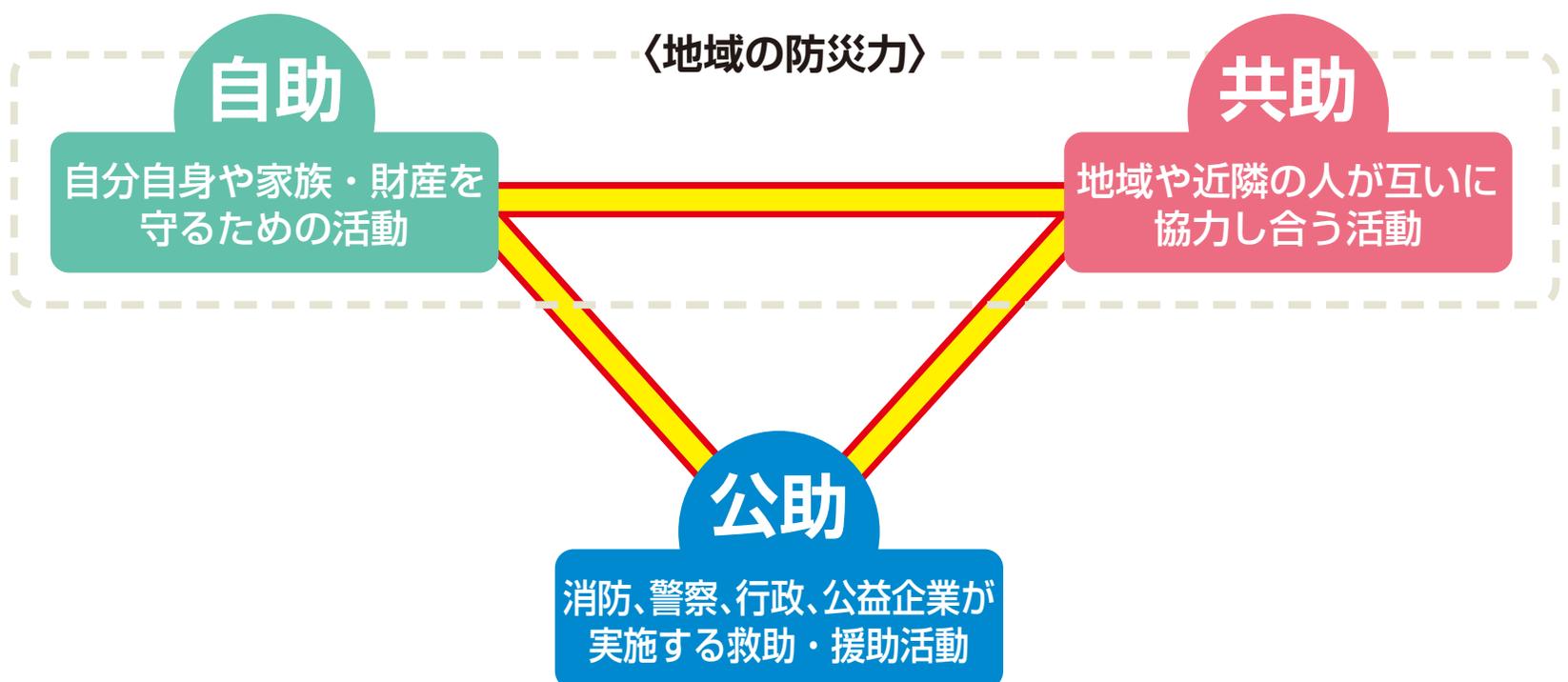
最後に、安全で安心なまちづくりの実現に向けて、全力をあげて取り組んでまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和2年 みやき町

自助・共助・公助の連携

災害発生時には、自助・共助・公助の連携により人的・物的被害を軽減することができます。

ひとたび大規模な災害が発生したときには、公的機関が行う活動（公助）は交通網の寸断や同時多発火災などにより十分対応できない可能性があるため、個人の力で災害に備える（自助）とともに、地域での助け合い（共助）による地域の防災力が重要となります。



目次

● 防災マップについて	2
● 災害情報について	3
● 特別警報をご存知ですか？	4
● 風水害・台風	5
● 洪水・土砂	6
● 避難時に注意すること&災害の予備知識	7
● 地震	8
● 揺れやすさマップ&液状化マップ	9
● 火災	10
● 119番通報のしかた	11
● 防災対策&チェック	12
● 持ち出し品チェック&災害時のメンタルヘルス	13
● 家庭での備えされてますか？	14
● 家庭のオリジナルマップを作ろう！	15
● 自助・共助・公助	16
● 防災に関する知識	17
● 避難場所一覧	18
● みやき町全体図	19
● 洪水・土砂災害ハザードマップ	20~33



発行:みやき町 制作・著作:株式会社ゼンリン佐賀営業所 作成:令和2年3月

「この地図は、みやき町長の承認を得て、みやき町所管の測量成果を使用して調製したものである。(み建第3854号)」
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分1地方図、2万5千分1地形図及び電子地形図25000を使用した。(承認番号 平29情使、第444-1237号)」

(禁無断複製) ©2020 ZENRIN CO., LTD.

防災マップについて

☞ 防災マップは、見やすい場所に置き、常に確認できるようにしてください。

☞ 防災マップに表示してある危険箇所については、がけ崩れ・土石流の発生する可能性がある場所を示しています。よって、その近く（特に、下流側の地域）については十分に注意してください。

☞ 災害から一時的に避難する場合は、避難場所及び避難経路を各家庭又は自治会で決めておく必要があります。

浸水想定区域の策定基準

このマップの浸水想定区域図は、水防法の規定に基づき想定し得る最大規模の降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示したものです。

指定時点の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により筑後川、寒水川、通瀬川及び田手川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫などを考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

指定の前提となる降雨：荒瀬上流域の48時間総雨量810mm

寒水川流域の6時間総雨量623mm

通瀬川流域の6時間総雨量630mm

田手川流域の6時間総雨量605mm

河川水位及び危険度レベル

水位危険度レベル	水位	求める行動の段階
5	はん濫の発生	・はん濫水への警戒を求める段階 → 「災害発生情報」の発令
4 (危険)	はん濫危険水位	・いつはん濫してもおかしくない状態 ・避難などのはん濫発生に対する対応を求める段階 → 「避難勧告」等の発令
3 (警戒)	避難判断水位	・避難準備などのはん濫発生に対する警戒を求める段階 → 「避難準備・高齢者等避難開始」の発令
2 (注意)	はん濫注意水位	・はん濫の発生に対する注意を求める段階
1	水防団待機水位	・水防団が体制を整える段階

● 筑後川河川事務所(雨量・水位リアルタイム情報) 筑後川の現在の様子をインターネットでご覧いただけます。

《国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所》

<http://www.qsr.mlit.go.jp/chikugo/bousai/uryosuii/index.html>

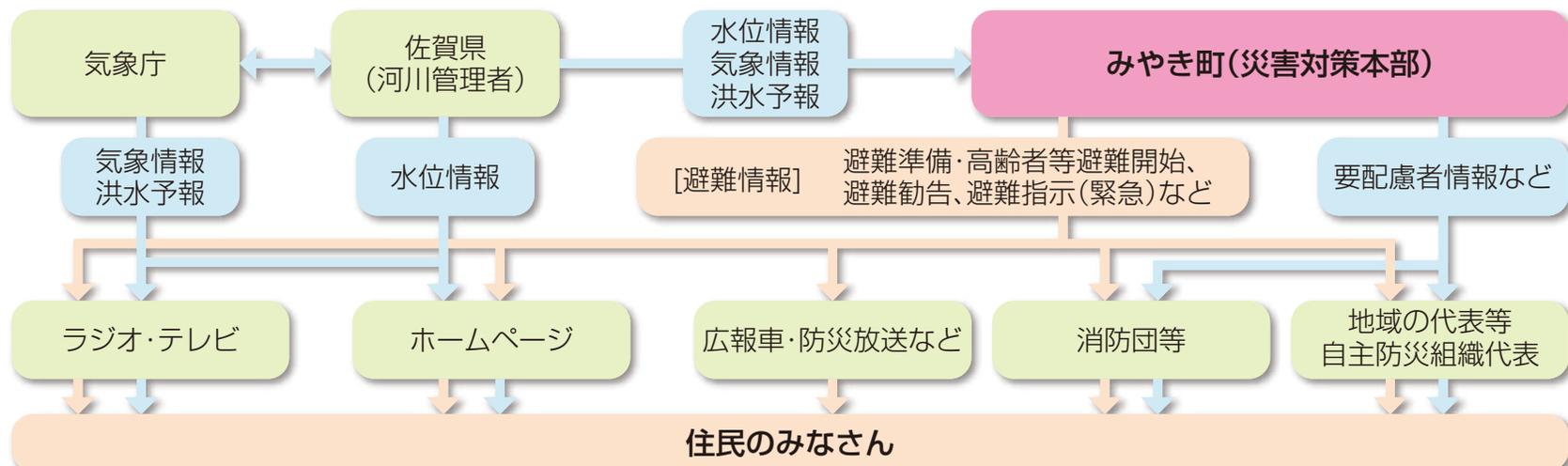
携帯電話、スマートフォンの方はこちらから接続できます。



災害情報について

気象情報の伝達方法

洪水情報の伝達ルート ● 気象の異常に対して、下図の伝達ルートで皆さんへお知らせします。



情報がなくても、異常気象(雷雨や異常な降雨)を感じたときには、避難の準備が必要です。危険を感じたときには、速やかに避難しましょう。

避難情報と住民の皆さんの行動

町では、皆さんの生命に危険が及ぶと判断した場合、「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」、「避難指示(緊急)」を発令し、皆さんに避難を促します。皆さんの行動について確認してください。また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は自主的な避難を開始してください。

<避難情報等>

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル 5	既に 災害が発生している 状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	災害発生情報 ※1 ※1 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令〔市町村が発令〕
警戒レベル 4 全員避難	速やかに避難先へ避難 しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) ※2 ※2 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合などに発令〔市町村が発令〕
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者 は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 〔市町村が発令〕
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 〔気象庁が発表〕
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 〔気象庁が発表〕

<防災気象情報>

【警戒レベル相当情報(例)】

警戒レベル5相当情報

氾濫発生情報
大雨特別警報 など

警戒レベル4相当情報

氾濫危険情報
土砂災害警戒情報 など

警戒レベル3相当情報

氾濫警戒情報
洪水警報 など

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

(国土交通省、気象庁、都道府県が発表)

～各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。～

【警戒レベル5】では既に災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。

【警戒レベル3】や【警戒レベル4】で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

詳しく知りたい方は

内閣府 防災情報のページ

http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/index.html

内閣府 避難勧告

検索



特別警報をご存知ですか？

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする新しい警報です。普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

特別警報の発表基準

現象の種類	基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合
地震 (地震動)	震度 6 弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報 (震度 6 弱以上) を特別警報に位置づける)

※表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量などの客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

特別警報が発表されたら

- 尋常でない大雨などが予想されています。
- 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

命を守るために情報の収集に努めてください

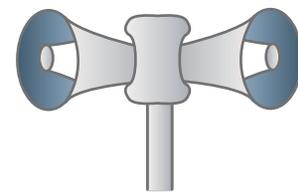
特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



テレビ・ラジオ



インターネット・
気象庁ホームページ



防災行政無線・広報車など

「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。

これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。



「特別警報」については、佐賀地方気象台ホームページに詳細が掲載されていますので、ご確認ください。

●佐賀地方気象台

〒840 - 0801 佐賀県佐賀市駅前中央 3-3-20(佐賀第2合同庁舎8階)
電話・・・0952-32-7025
佐賀地方気象台ホームページ・・・<https://www.jma-net.go.jp/saga/>

風水害・台風

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
 ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！こんなときのわが家の安全対策。



雨量の目安・気象情報の種類と基準

大雨注意報・大雨警報・記録的短時間大雨情報の発表基準

大雨注意報

大雨による災害が発生するおそれがあると予測される場合。

大雨警報

大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予測される場合。

記録的短時間大雨情報

土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っている場合。

【発表基準】
1時間雨量 110mm以上

雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

10mm 以上～20mm 未満	20mm 以上～30mm 未満	30mm 以上～50mm 未満	50mm 以上～80mm 未満	80mm 以上～
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10m/秒 以上～15m/秒 未満	15m/秒 以上～20m/秒 未満	20m/秒 以上～25m/秒 未満	25m/秒 以上～
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。
 台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

(平均風速:m/秒)

大きさ	風速 15m/秒 以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km 以上～800km 未満	強い	33m/秒 以上～44m/秒 未満
超大型(非常に大きい)	800km 以上	非常に強い	44m/秒 以上～54m/秒 未満
		猛烈な	54m/秒 以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。
 発生の予測は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常時の持ち出し品を準備しておく。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備する。

つねに気象情報には、注意しておきましょう！



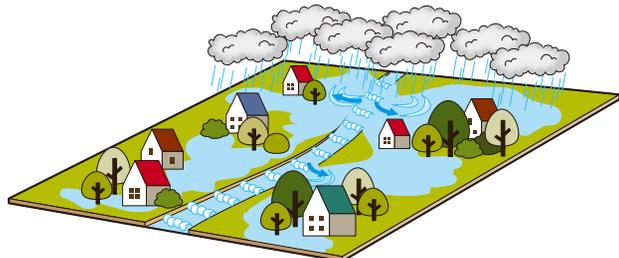
洪水・土砂

大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

川のはん濫

雨量の増加によってもたらされるはん濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水はん濫」と、街中の排水が間に合わず、水路などからあふれ出す「内水はん濫」の2タイプがあります。

外水はん濫



大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える、あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。はん濫が起きると一気に水かさが増すため、最大の注意が必要。

内水はん濫

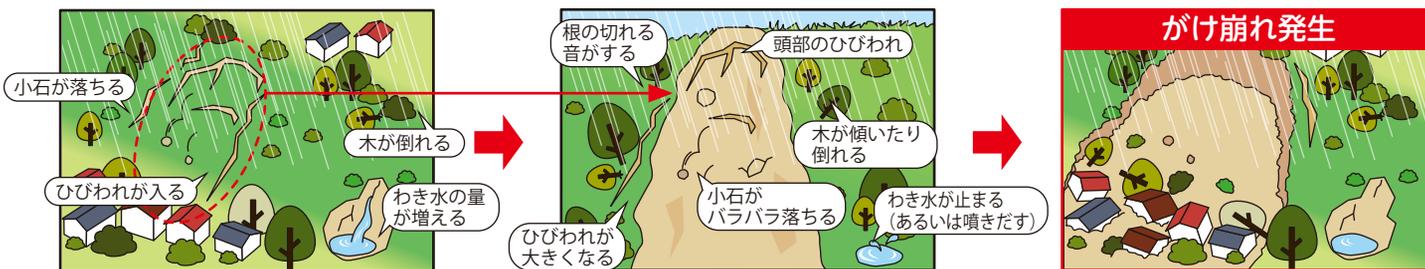


その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。

土砂災害

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気づいた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。また、日ごろから危険箇所や避難場所・避難経路を確認しておくことも重要です。

がけ崩れ



地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高い。

土石流



山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象。その流れの速さは規模によって異なるが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させる。

地すべり



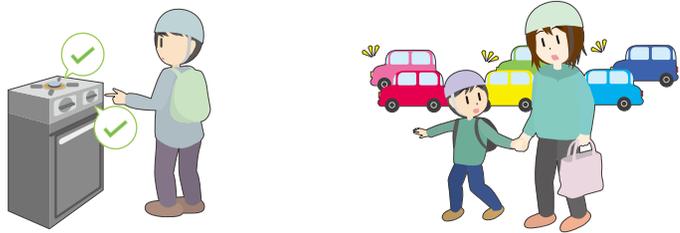
斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼす。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難。

※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

避難時に注意すること & 災害の予備知識

戸締り・ガス・火元・電気のチェック

避難の際は、火の始末と戸締りを行いましょ。避難時の持ち出し品は必要最小限になるようまとめましょ。



車での避難は控える!

緊急車両の通行の妨げになります。浸水すると動けなくなりますので危険です。

速やかに避難を!

動きやすい格好で、2人以上で避難ましょ。災害に巻き込まれる可能性があるので、忘れ物などを取りに、家に帰らないようましょ。

洪水・土砂災害での避難の仕方

歩ける深さに気をつける!

歩ける深さは平均約50cm。水がひざまで来たら助けを呼び、高い所で救助を待ちましょ!



ロープでつながる!

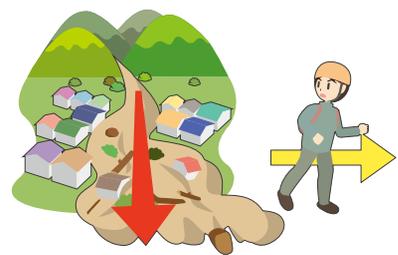
はぐれないようお互いの身体をロープで結んで避難ましょ! また、水面下には危険が潜んでいます。長い棒を杖がわりに安全確認をして下さい。



! もしも、土石流に遭遇したら

逃げ方に注意ましょ!

土石流は流れるスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して、直角に逃げるなど、逃げ方に注意ましょ。



履き物に注意!

裸足、長靴は禁物です。ひもで締められる運動靴が良いでしょう。



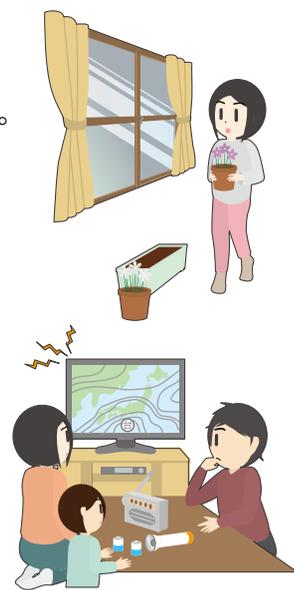
直前対策! 台風の進路にあったら

屋外では

- 物干し竿や物干し台は寝かせ、自転車なども風で飛ばされないように柱などに結びつけておく。
- 庭木に支柱を立てたり、風で飛ばされそうな植木鉢やゴミ箱などは屋内に入れておく。
- 側溝にたまった落ち葉などを取り除き、排水を良くする。雨どい・雨水ますの掃除もしておく。
- 窓や雨戸をしっかり閉め、外側から板などで補強しておく。
- かわらやトタンが飛ばされないように補強しておく。
- 浸水の危険がある場合は、日頃から土のうなどを準備しておく。

屋内では

- テレビやラジオなどの気象情報に十分注意する。
- 浸水に備えて、家財道具や食料・衣類・寝具などの生活用品は高い場所へ移動させ、貴重品などの非常持ち出し品を準備する。
- 懐中電灯や予備の電池を準備する。
- 断水に備えて、飲料水を確保する。浴槽に水をはるなどしてトイレなどの生活用水も確保する。
- 外からの飛来物の飛び込みに備えて、カーテンやブラインドは下ろしておく。



援助が必要な人がいたら

高齢者や病気の方

お年寄りや子ども、病気の方などは、早めの避難が必要です。皆さんで協力して避難ましょ。



耳の不自由な方

話す時はまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かましょ。手話、筆談、身ぶりなどの方法で正確に情報を伝えましょ。



目の不自由な方

はっきり、ゆっくり大きな声で話しかけましょ。誘導する場合は、ひじの辺りを軽く持ってもらいゆっくりした速度で半歩前を歩かましょ。



体の不自由な方

車いすの方の場合、階段では必ず3人以上で! 昇る時は、前向きに、降りる時は後ろ向きにましょ。

地震

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

1~2分

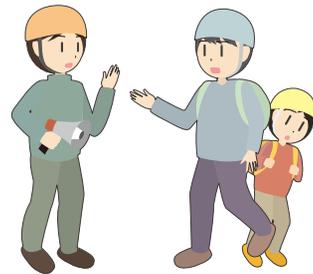
最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る安全確保 手近な座布団などで頭を保護
- すばやく火の確認 ガスの元栓、コンセント
- 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機などに注意
- 津波などの危険が予想される地域はすぐ避難



みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- 隣近所に声をかけよう
- 要配慮者の安全確保 隣近所で助け合う
 - 行方不明者はいないか
 - ケガ人はいないか

- 出火防止 初期消火
- 初期消火 消火器を使う バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく
 - 漏電・ガス漏れに注意 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める
 - 余震に注意

3分

ラジオなどで正しい情報を得る

- 大声で知らせる ●救出・救護を ●防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように ●避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



5分

協力して消火活動、救出・救護活動

- 水、食料は蓄えているものでまかなう ※3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 災害・被害情報の収集 ●無理はやめよう
- 助け合いの心が大切 ●壊れた家に入らない



10分

数時間

3日

屋内に
いた場合

家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。



集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。
- あわてずに冷静な行動をとる。



屋外に
いた場合

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をかばんなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両などの通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

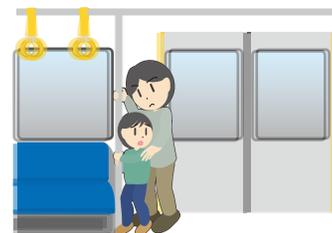
海岸付近

- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。



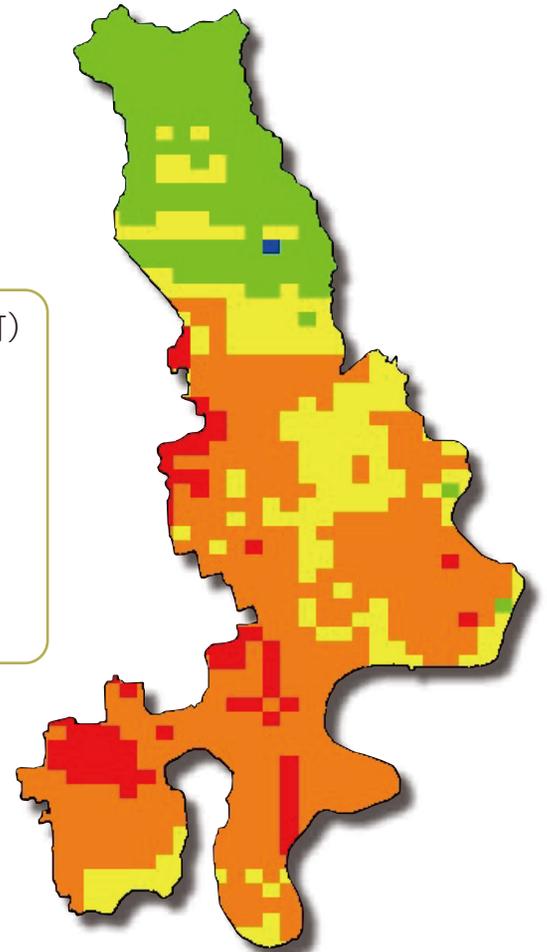
電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



揺れやすさマップ

みやき町地表の地震動の震度分布図



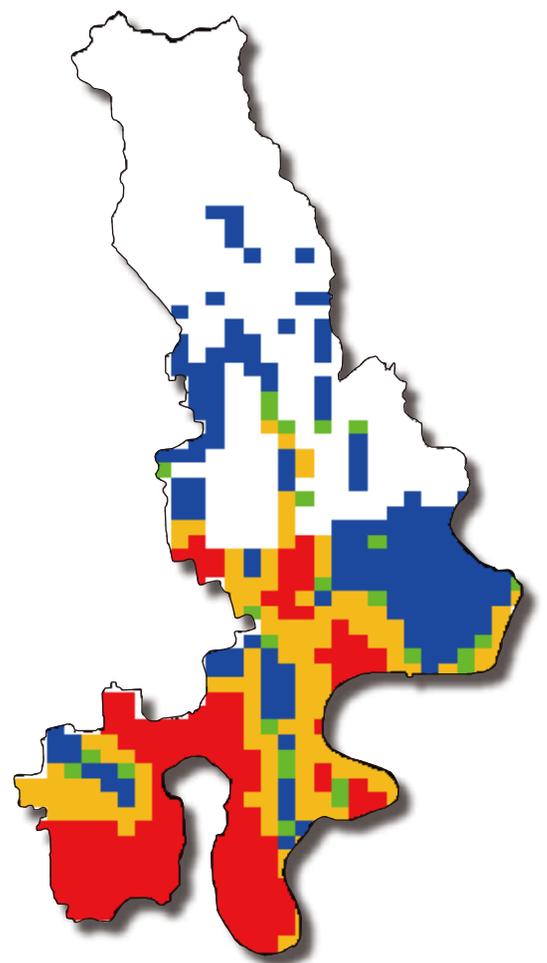
佐賀平野北縁断層帯

液状化マップ

液状化危険度の評価値の分布図

液状化現象 とは...

地震の際に、地下水位の高い砂地盤が振動により液体状になる現象。これにより比重の大きい構造物が埋もれ、倒れたり、地中の比重の小さい構造物(下水管等)が浮き上がったりする。



佐賀北縁断層帯の地震

● この揺れやすさマップ、液状化マップは、佐賀県地震被害等予測調査の調査結果を用いて、みやき町内に大きな被害を及ぼすことが想定される佐賀平野北縁断層帯(M7.5、最大震度7)の地震による被害を地図上に示したものです。



火災

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119通報を。
初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

初期消火の3原則

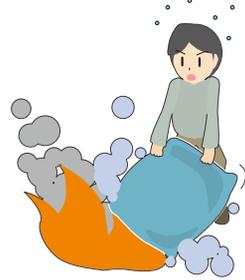
1. 早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければやかんなどを叩き、異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。



2. 早く消火する

- 出火から3分以内が消火できる限度。
- 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近なものを活用する。



火元別初期消火のコツ

油なべ

あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。

ストーブ

消火器は直接火元に向けて噴射する。石油ストーブの場合は粉末消火器で。消火器がない場合は、水にぬらした毛布などを手前からすべらせるようにかぶせ、空気を遮断する。

衣類

着衣に火がついたら転げまわって消すのも方法。髪の毛の場合なら衣類(化繊は避ける)やタオルなどを頭からかぶる。

風呂場

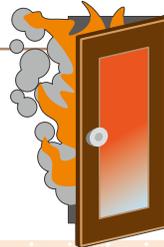
風呂場からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を締め、徐々に戸を開けて一気に消火を。

電気製品

いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火を。

カーテン・ふすま

カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。



3. 早く逃げる

- 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。

消火器の使い方

粉末・強化液消火器の場合



安全ピンに指をかけるように引き抜く。



ホースをはずして火元に向ける。



レバーを強く握って噴射する。

消火器のかまえ方

- 風上に回り風上から消す。炎にはまともに正対しないように。
- やや腰を落として姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。



火災予防が一番!!

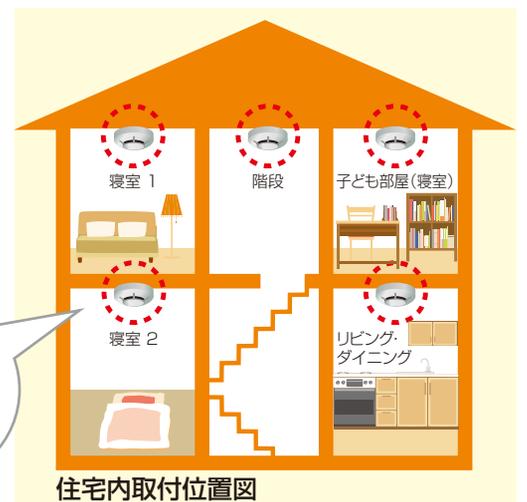
住宅用火災警報器の設置義務化

消防法の改正により、住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

火災による死傷者を無くすためにも設置しましょう。

火災警報器の設置場所

- 寝 室…すべての寝室(子供部屋や老人の居室など就寝に使われている場合は対象となります)への設置が必要です。
- 階 段…寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。
- 台 所…台所への設置もおすすめします。



住宅内取付位置図

119番通報のしかた

119番通報

消 防

通報者

固定電話がある場合は固定電話からお願いします。やむを得ず携帯電話からかける場合、通報後、「その場から離れない」、「電源を切らない」ようにお願いします。(携帯電話からかける場合、通報が他の消防本部に入るおそれがあります。)



火事 ですか？ **救急** ですか？

火事 です



救急 です



〔自宅の場合〕 住 所

氏 名

電話番号

〔外の場合〕 近くの建物の名前

←記入して
おきましょう



何が燃えていますか？

(見たまを具体的に教えてください)



逃げ遅れた人やケガをしている人はいますか？

(分かることを具体的に教えてください)



誰がどのような状態ですか？

- ・ 年齢
- ・ 性別
- ・ 呼吸の有無
- ・ 意識の有無
- ・ 出血・ケガの有無

(分かることを具体的に教えてください)



あなたの名前と電話番号を教えてください

これで通報は終了です

お問い合わせ先	鳥栖・三養基地区消防事務組合(代表)	0942-85-0119
	火災・災害等の問い合わせ (災害情報ダイヤル)	0180-999-555
	救急医療情報システム (病院等の問い合わせ)	0942-83-0063

火災や災害の問い合わせのために119番をかけるのは絶対におやめください。上記のテレホンサービスをお願いします。本当に消防車や救急車が必要な方が困りますので、ご協力をお願いします。

防災対策&チェック

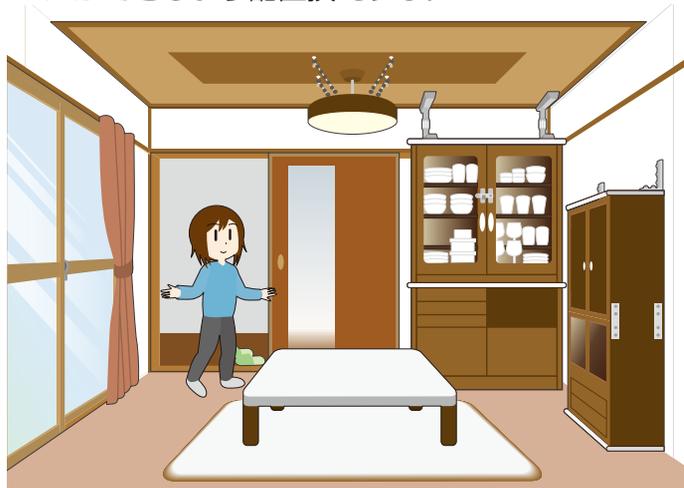
突然の災害に備えて、今、自分たちでできることを見回してみましょう。
日頃から対策ができているか、チェックしましょう。

家の中の安全対策

Check Point

家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。
無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換える。



Check Point

寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



Check Point

安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

Check Point

家具の転倒を防ぐ

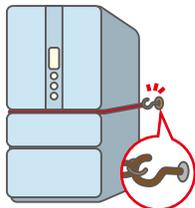
家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。

家具の転倒、落下を防ぐポイント

Check Point

冷蔵庫

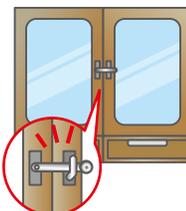
扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



Check Point

食器棚

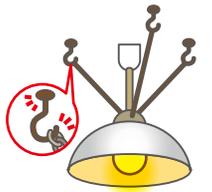
L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



Check Point

照明

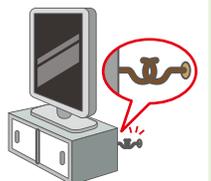
チェーンと金具を使って数か所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



Check Point

テレビ

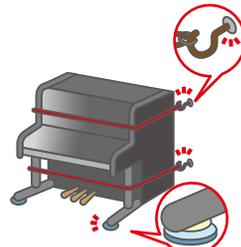
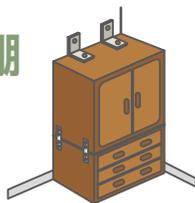
できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。



Check Point

タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



Check Point

ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。

家の周囲の安全対策

Check Point

屋根

不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

Check Point

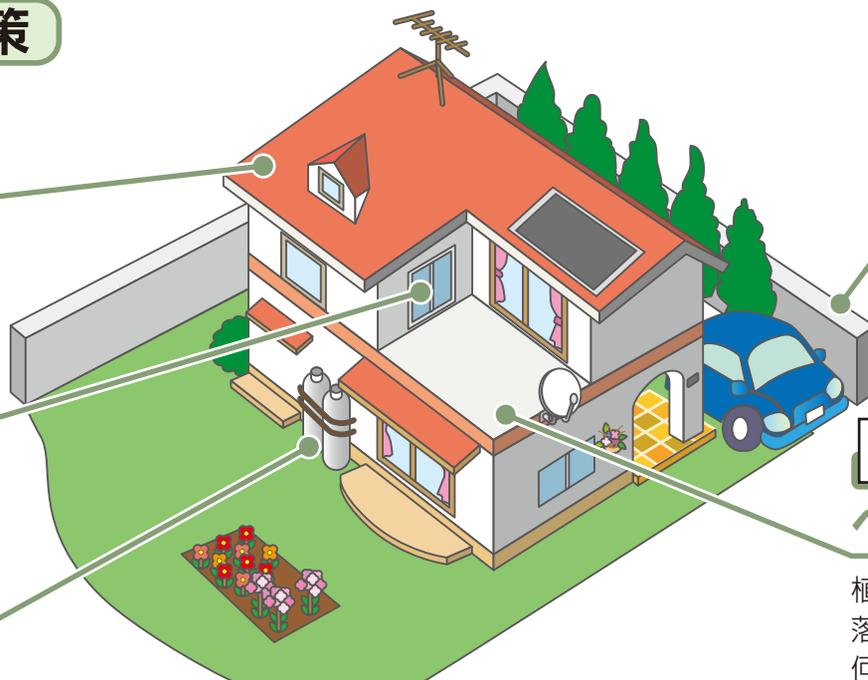
窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。

Check Point

プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。



Check Point

ブロック塀・門柱

土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

Check Point

ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

持ち出し品チェック & 災害時のメンタルヘルス

非常時持ち出し品チェックリスト

災害時に困らないよう常備しておきましょう。

☐ 飲料水

一人一日3ℓが目安。



☐ 食料品

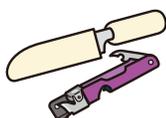
乾パン・缶詰・ビスケット・チョコレートなど。

※赤ちゃんのいる家庭は、ミルク・ほ乳びんなども。



☐ 缶切り・ナイフ

多機能なものが便利。



☐ マッチ・ライター

湿気やガス切れに注意。
防水マッチも市販されている。



☐ 医薬品

消毒薬・胃腸薬・
脱脂綿・バンソウコウ・
包帯・持病の薬。



☐ 貴重品

現金(小銭も)・預金通帳・
印鑑など。

※いざという時、すぐ持ち出せるように保管場所を決めておきましょう。



☐ ヘルメット・防災頭巾

飛来物や落下物から頭を保護するものをすぐに取り出せる所に。



☐ 手袋(軍手)

ガレキの撤去や救助に、厚手のものを用意。



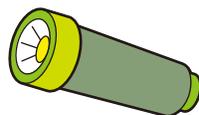
☐ ろうそく

濡れない様にビニール袋に入れて、保管する。



☐ 懐中電灯

夜間、すぐに手の届く場所に。



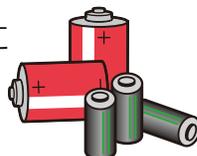
☐ ラジオ

情報収集に欠かせない。
懐中電灯と一体型のもも便利。



☐ 乾電池予備

ラジオや懐中電灯に使用するものを少し多めに。



☐ 衣類

下着・ジャンパー・タオルなど。



☐ レインコート・雨具

雨天、防寒に。コンパクトにたためるものが便利。



☐ 毛布

寝袋や、体温を逃がさないサバイバルシートなども重宝。



☐ 運動靴

避難する時に怪我を防止するために。すぐに取り出せる所に。



☐ 紙皿・紙コップ・ラップ

ラップを取り替えて使うことで、洗わないで使えるので重宝。



☐ ティッシュ・ウエットティッシュ



災害時のメンタルヘルス

1. 症状

災害のように大変強いストレスにさらされると、程度の差はあっても、だれでも次のようなさまざまな心身の反応や状況が現れます。

心理面

- ①感情が動かなくなる
- ②強い不安・恐怖
- ③眠れない・夜中に目が覚める
- ④孤独感・罪悪感
- ⑤いらいら・怒り

行動面

- ①怒りっぽくなる
- ②興奮、取り乱す
- ③閉じこもり
- ④飲酒や喫煙の増加
- ⑤生活が不規則になる

思考面

- ①物事に集中できない
- ②思考力の減退、まひ、混乱
- ③忘れっぽい、覚えられない
- ④判断力・決断力の低下
- ⑤無気力

身体面

- ①頭痛・肩こり
- ②足のだるさ
- ③胃のもたれ・下痢や便秘
- ④息苦しさ
- ⑤食欲不振

2. 予防と解消

- 家族や友人とのきずなを大切にしましょう
- 規則正しい生活をこころがけましょう
- 身体をリラックスさせてあげましょう
- 楽しみを見つけ、気分転換を図りましょう
- つらいことは一人で抱え込まず、誰かに話してきちんと受け止めてもらいましょう

佐賀県精神保健福祉センター

電話 0952-73-5060

鳥栖保健福祉事務所

みやき町役場 健康増進課

0942-83-2161

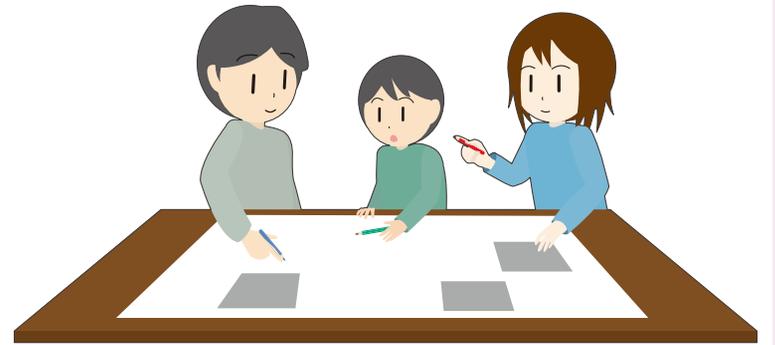
0942-89-3915

家庭での備えされていますか？

突然起こりうる災害を予測するのは難しいものです。いざというときの家族の行動、避難場所や避難方法、連絡方法などを普段から家族でよく話し合っておきましょう。その際、「持ち出し品チェック」のページを活用して、持ち出し品の点検も行っておきましょう。

家族で話し合っておきたい項目

- ① 家の中ではどこが一番安全か
- ② 救急医薬品や消火器などを準備しているか
- ③ 乳幼児や高齢者の面倒は誰がみるのか
- ④ 安全な避難経路、避難場所はどこにあるのか
- ⑤ 避難するとき、誰が何をもち出すのか、非常時持ち出し袋はどこに置くのか
- ⑥ 家族間の連絡方法と最終的に出会う場所はどこにするのか
- ⑦ 昼の場合と夜の場合の役割分担は、はっきり決まっているか
- ⑧ 地域の防災活動(自主防災組織の訓練など)に参加しているか



家庭のオリジナルマップの作成

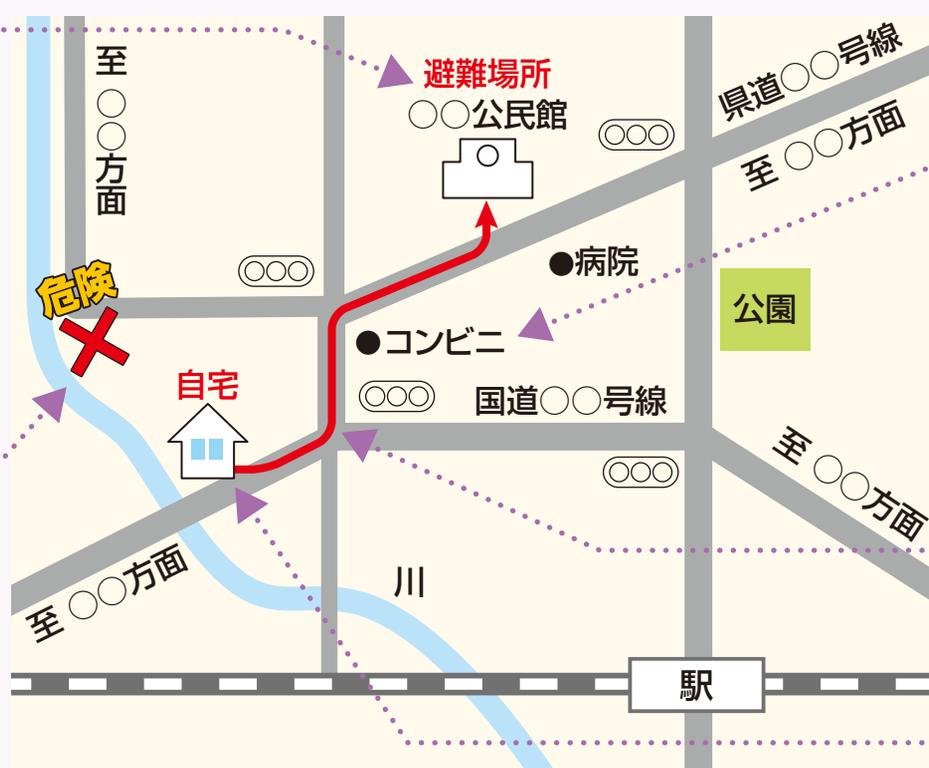
家族で話し合った内容なども踏まえ、自宅から避難場所までの経路や危ない場所などを記載したオリジナルマップを作成し、家庭内で共有しておきましょう。

避難場所

災害が発生した際に避難する場所をあらかじめ確認しておきましょう。

危険な場所

川の近くなど、洪水時に危険となるような箇所には印をつけ、その避難経路はとらないようにしましょう。



目印となる場所

避難経路上で目印となる箇所を書き込んでみましょう。特に曲がり角には分かりやすいように目印を加えてみましょう。

避難経路

避難場所までの経路となる、矢印を書き込みましょう。

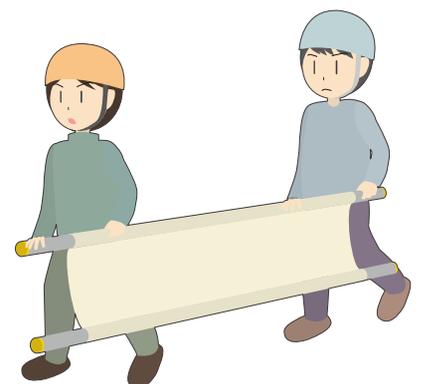
自宅

自宅を書き込みましょう。

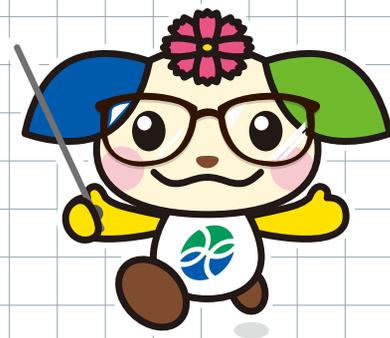
自主防災組織への参加

巨大地震などで大規模災害が発生すると、火災の複数同時発生や建物崩壊、交通網の寸断などで防災機関が十分に機能しなくなる可能性が考えられます。

こうした場合、個人や家族だけの力では各地域の被災者、負傷者を助けることは困難となるため、近隣住民や地域で一体となって協力して防災活動を行う「共助」が重要です。「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えで隣近所がお互いに協力し、地域ひとつになって防災活動を行うのが「自主防災組織」です。「自主防災組織」での訓練は、防災活動に関する知識や技術を学ぶのによい機会です。ぜひ参加しましょう。



家庭のオリジナルマップを作ろう!



自助・共助・公助

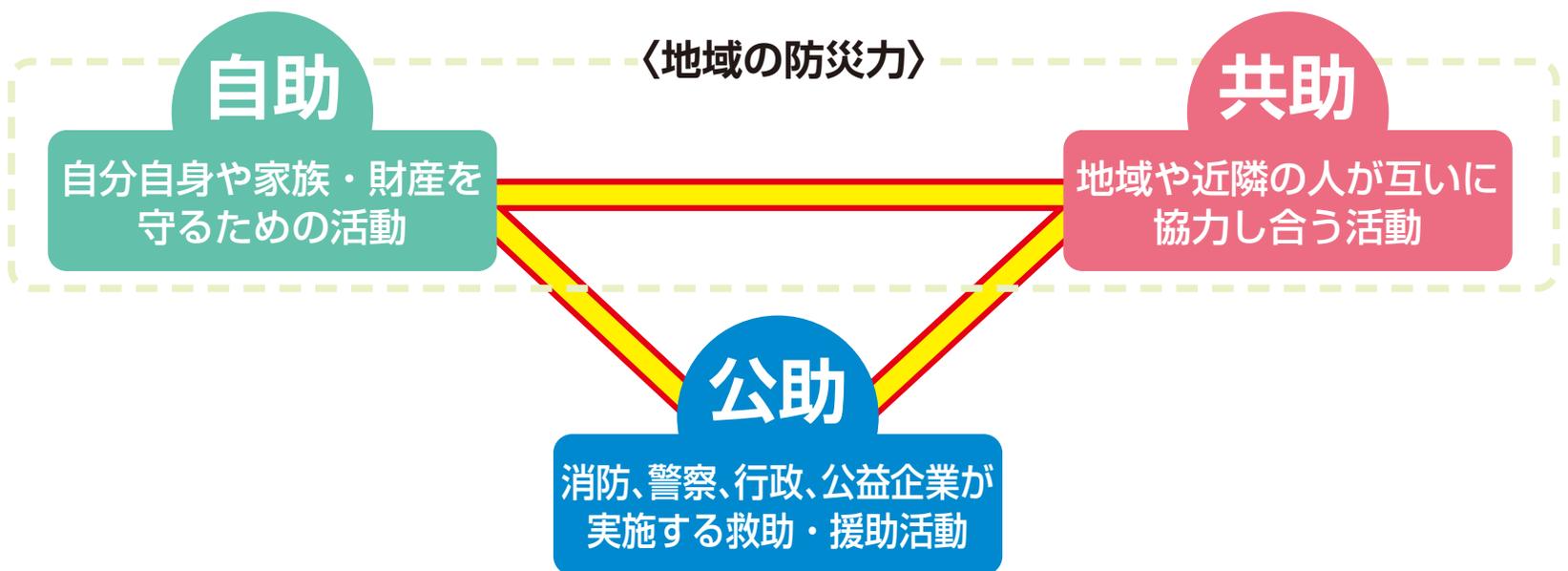
自助・共助・公助の連携

大規模な自然災害が発生した場合には、自分自身や家族・財産は自分で守る「自助」、地域や近隣の人が互いに助け合う「共助」、公的機関が行う活動「公助」が連携する必要があります。下表は、阪神・淡路大震災時に、生き埋めや閉じ込められた人が誰に救助されたかを表したものです。

自力で	34.9%	自助
家族	31.9%	
友人・隣人	28.1%	共助
通行人	2.6%	
救助隊	1.7%	公助
その他	0.9%	

出典元『日本火災学会：1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書』

大規模な自然災害が発生した時には、公的機関が行う活動「公助」は、交通網の寸断や同時多発火災などにより十分対応できない可能性があるため、「自助」と「共助」による地域の防災力が大変重要となります。



災害に強いまちづくりを目指して、自分の地域は自分たちで守る「自主防災組織」活動を通じて「共助」の強化、地域の防災力の強化に向けた取組を始めてみませんか？

「自主防災組織」とは？

- 災害発生時はもちろん、日頃から地域の皆さんと一緒に防災活動に取り組むための組織を「自主防災組織」と言い、みやき町では地区単位で組織されています。
- 平常時には防災訓練や広報活動、災害時には、初期消火、救出救護、集団避難、避難所への給食給水などの活動を行います。



なぜ、「自主防災組織」が必要なの？

- 大規模な災害が発生した時、地域の皆さんが協力し、災害や避難に関する情報の伝達、避難誘導、安否確認、救出・救護活動に取り組むことで被害の軽減を図ることができます。また、活動を迅速に進めるためには「お互いに顔の見える関係」の中で、事前に地域内で役割分団を決めておくことが有効です。より効率よくさまざまな活動をするためにも事前の準備(=体制づくり)が重要です。

連絡表

万が一に備え、地区や班の代表者などの連絡先を記入しておきましょう。

氏名	連絡先	メモ

避難場所一覧

いざという時のために、お近くの「避難場所」・「福祉避難場所」を確認し、災害時に適切な対応ができるよう、備えてください。

避難場所

災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、その危険から逃れるための施設又は場所。

福祉避難場所

災害時に障がい者や高齢者など、一般の避難所生活で特別な配慮を必要とする方々に配慮した避難所。

避難場所一覧

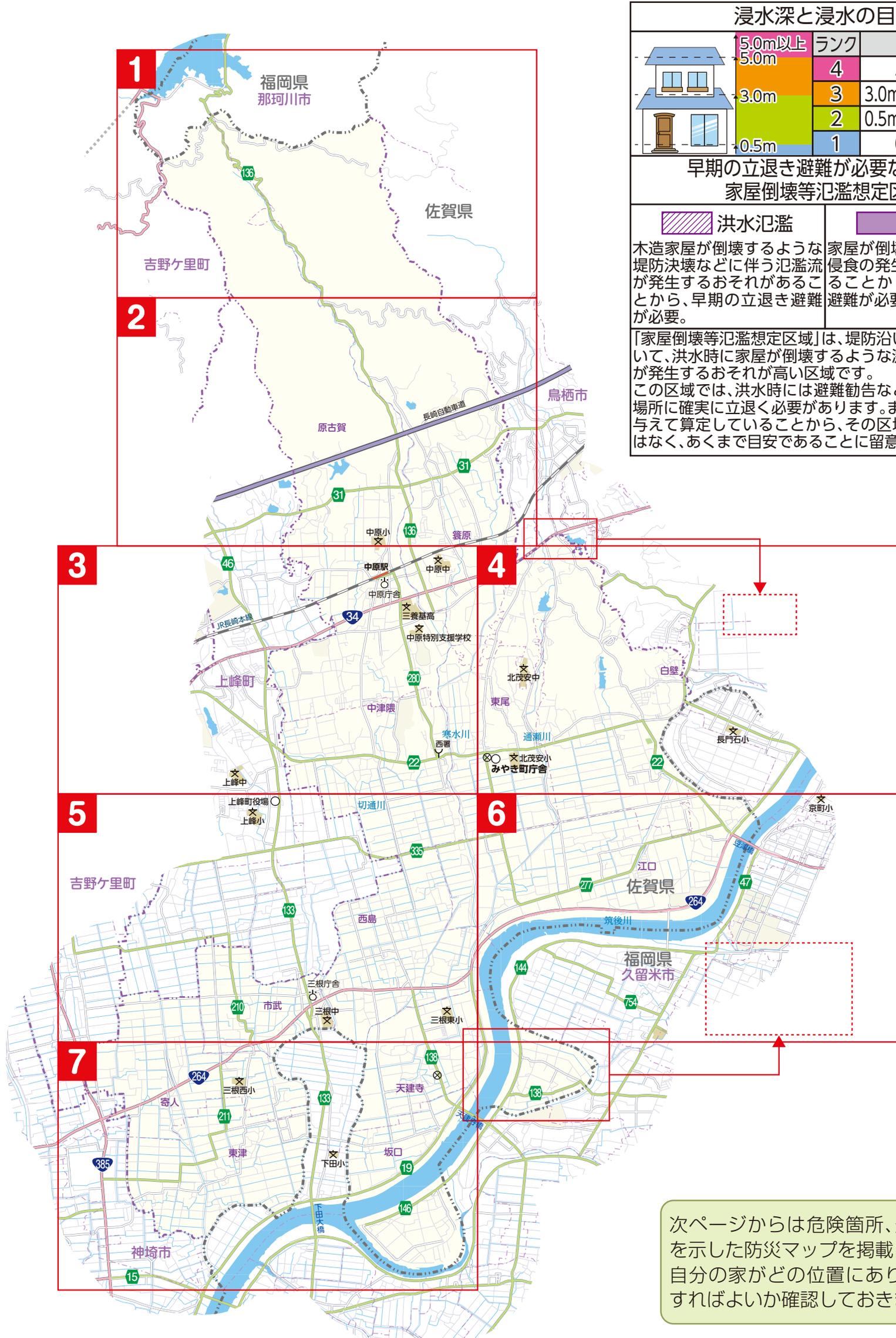
施設名	所在地	電話番号	標高
中原庁舎	みやき町大字原古賀 1043	0942-94-5721	28.0m
中原小学校	みやき町大字原古賀 1363	0942-94-2044	34.5m
中原中学校	みやき町大字簗原 1475	0942-94-2038	35.0m
三養基高校	みやき町大字原古賀 300	0942-94-2345	27.8m
中原体育館	みやき町大字簗原 1003-1	0942-94-5733	23.0m
みやき町庁舎 防災センター	みやき町大字東尾 737-5	0942-89-1651	6.7m
みやき町コミュニティーセンター (こすもす館)	みやき町大字東尾 6436-2	0942-89-1659	5.7m
北茂安小学校	みやき町大字東尾 420	0942-89-2123	6.0m
北茂安中学校	みやき町大字東尾 4435	0942-89-2008	25.0m
北茂安体育館 (水害以外)	みやき町大字江口 5128-2	0942-89-3037	5.3m
三根庁舎	みやき町大字市武 1381	0942-96-5531	4.5m
三根体育館	みやき町大字市武 1278-1	0942-96-3140	4.5m
みやき町農村環境改善センター	みやき町大字市武 1242	0942-96-3140	4.5m
三根東小学校	みやき町大字天建寺 2400	0942-96-3106	4.5m
三根西小学校	みやき町大字寄人 1385	0942-96-3040	4.0m
三根中学校	みやき町大字市武 1661	0942-96-2229	4.5m

福祉避難場所一覧

施設名	所在地	電話番号	標高
なかばる紀水苑	みやき町大字簗原 4260	0942-94-9211	68.0m
花のみね式番館	みやき町大字中津隈 5919	0942-89-1855	7.1m
自立訓練 (生活訓練) 事業所 ぱれっと	みやき町大字白壁 2927	0942-89-2132	33.0m
花のみね	みやき町大字西島 2730-1	0942-96-3377	4.6m

※上表の施設から、町が災害状況に応じ、開設する避難所を指定します。

みやき町全体図

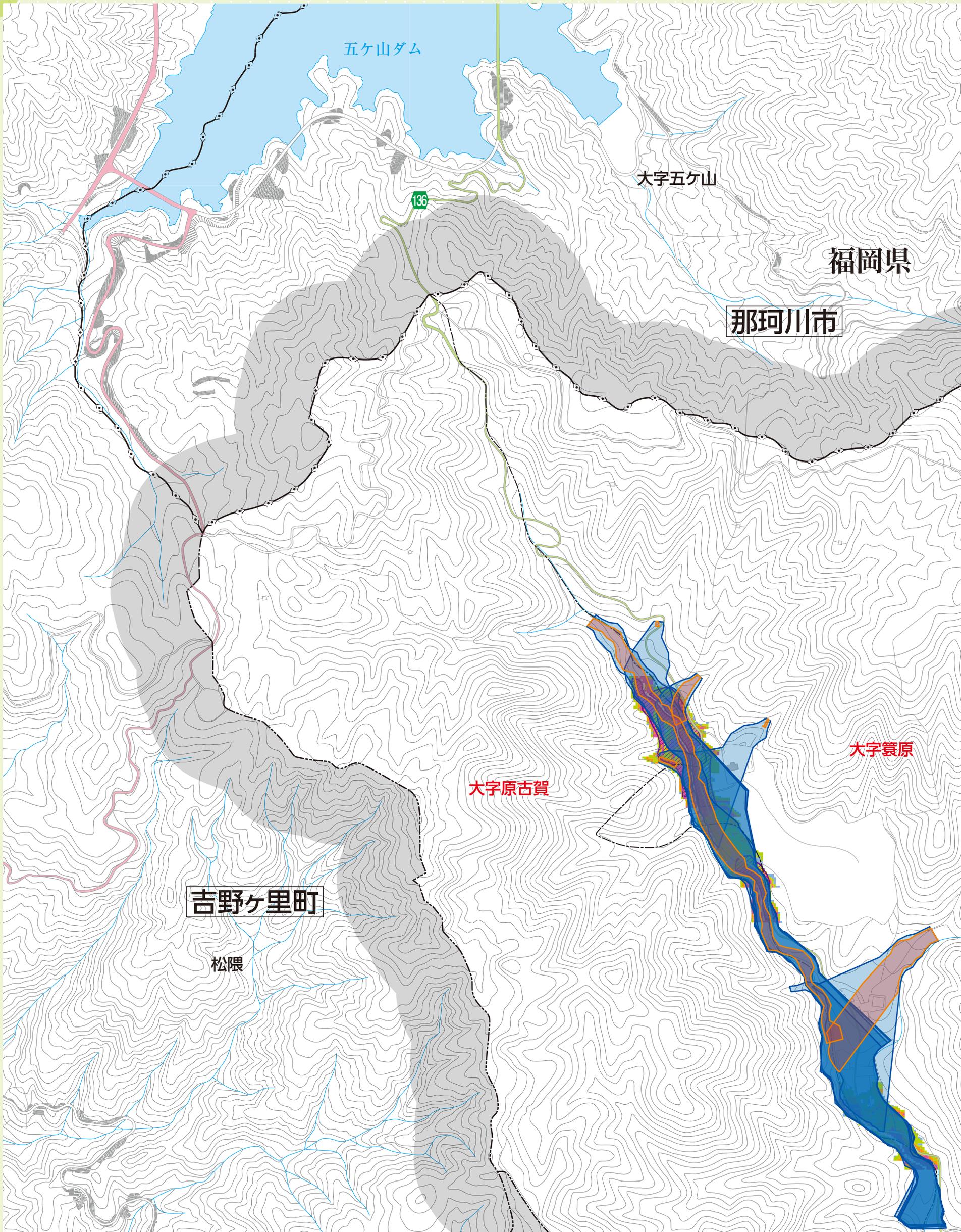


浸水深と浸水の目安			
	5.0m以上	ランク	浸水深
	5.0m	4	5.0m 以上
	3.0m	3	3.0m 以上~5.0m 未満
	0.5m	1	0.5m 以上~3.0m 未満
		1	0.5m 未満
早期の立退き避難が必要な区域： 家屋倒壊等氾濫想定区域			
洪水氾濫		河岸侵食	
木造家屋が倒壊するような堤防決壊などに伴う氾濫流などが発生するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。			
家屋が倒壊するような河岸侵食の発生するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。			
「家屋倒壊等氾濫想定区域」は、堤防沿いの地域などにおいて、洪水時に家屋が倒壊するような激しい氾濫流などが発生するおそれが高い区域です。この区域では、洪水時には避難勧告などに従って安全な場所に確実に立退く必要があります。また、一定の仮定を与えて算定していることから、その区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。			

次ページからは危険箇所、避難場所などを示した防災マップを掲載しています。自分の家がどの位置にあり、どこへ避難すればよいか確認しておきましょう。

地図 1

凡例		避難場所		福祉避難場所		避難場所名称		標高
		高速道路		国道		県道		町役場・分庁舎
		警察機関		消防署・消防団		学校		病院



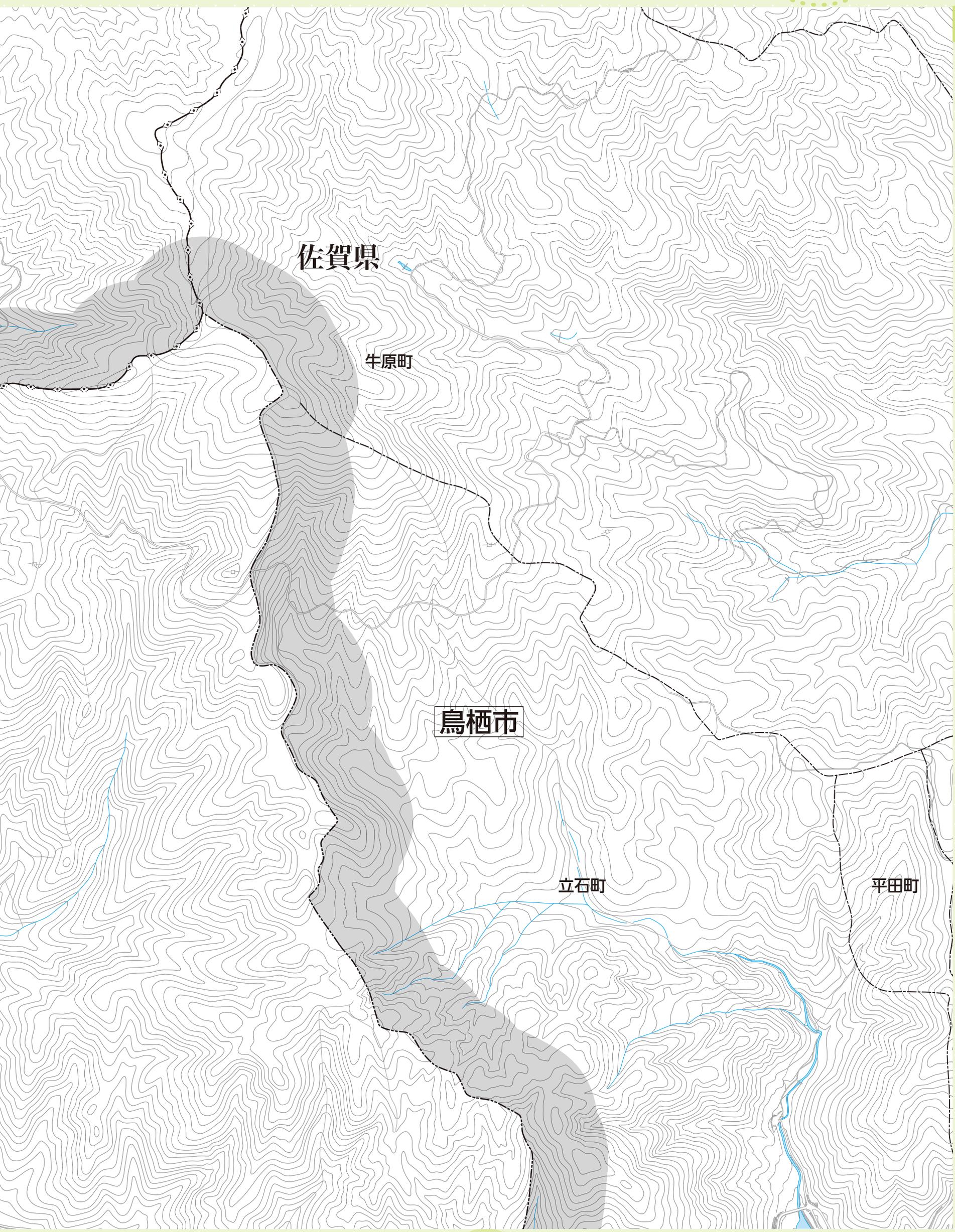
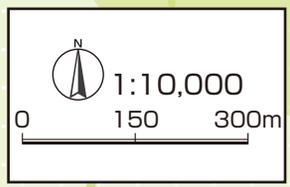
浸水深
5.0m 以上
3.0m 以上～5.0m 未満
0.5m 以上～3.0m 未満
0.5m 未満

 洪水氾濫
 河岸侵食

土砂災害の危険がある場所

土石流
 特別警戒区域
 警戒区域

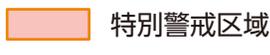
急傾斜地の崩壊
 特別警戒区域
 警戒区域

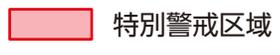


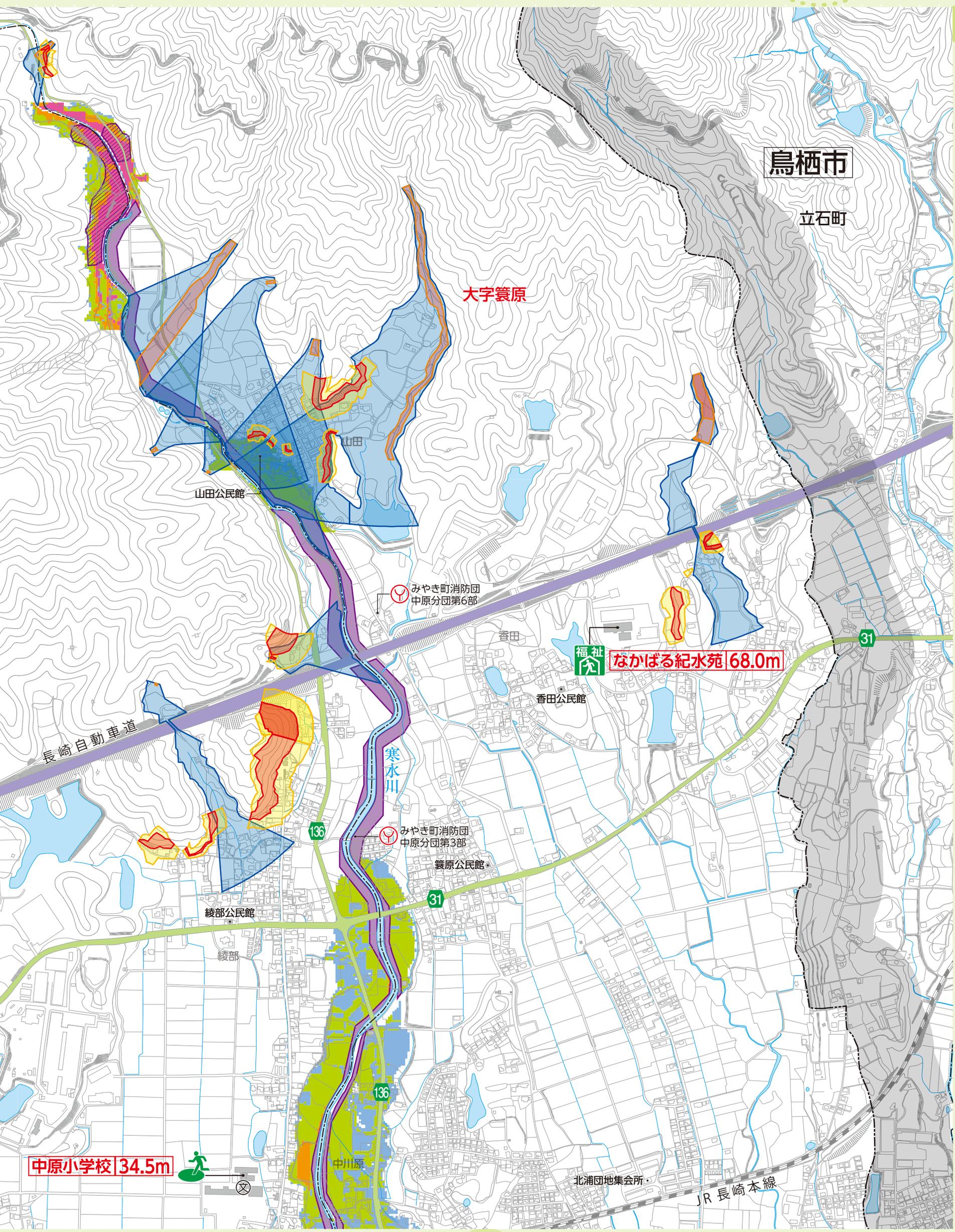
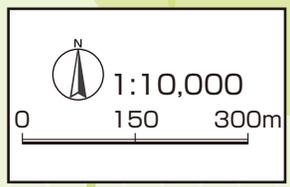
浸水深	
5.0m 以上	
3.0m 以上～5.0m 未満	
0.5m 以上～3.0m 未満	
0.5m 未満	

 洪水氾濫
 河岸侵食

土砂災害の危険がある場所

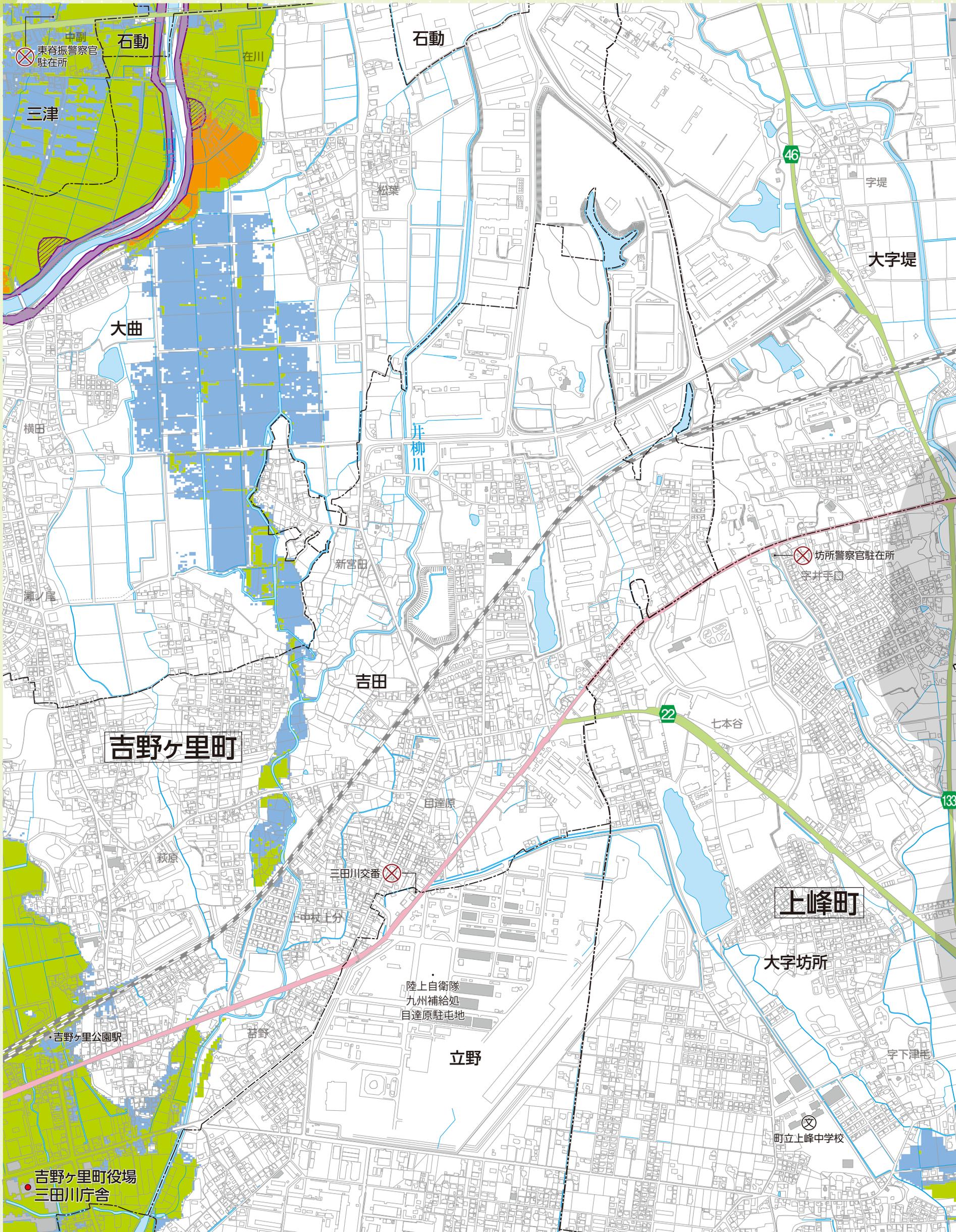
土石流	
特別警戒区域	
警戒区域	

急傾斜地の崩壊	
特別警戒区域	
警戒区域	



地図 3

凡例		避難場所		福祉避難場所		中根庁舎	避難場所名称		4.5m	標高
		高速道路		34	国道		31	県道		町役場・分庁舎
		警察機関		消防署・消防団		文	学校		+	病院



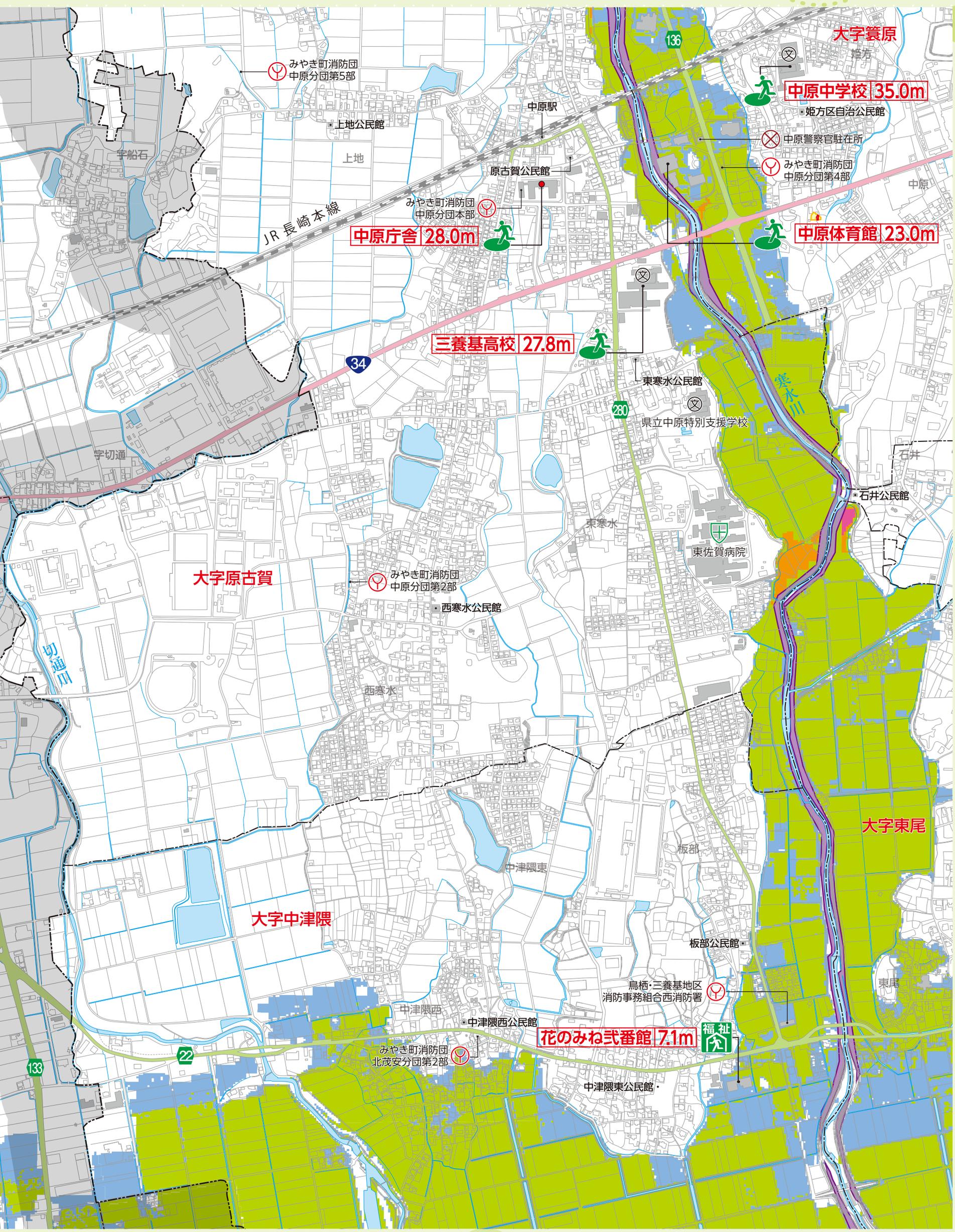
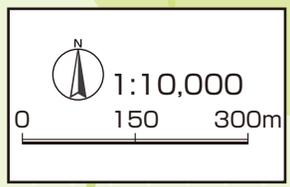
浸水深	
5.0m 以上	洪水氾濫
3.0m 以上～5.0m 未満	
0.5m 以上～3.0m 未満	河岸侵食
0.5m 未満	

土砂災害の危険がある場所	

土砂災害の危険がある場所

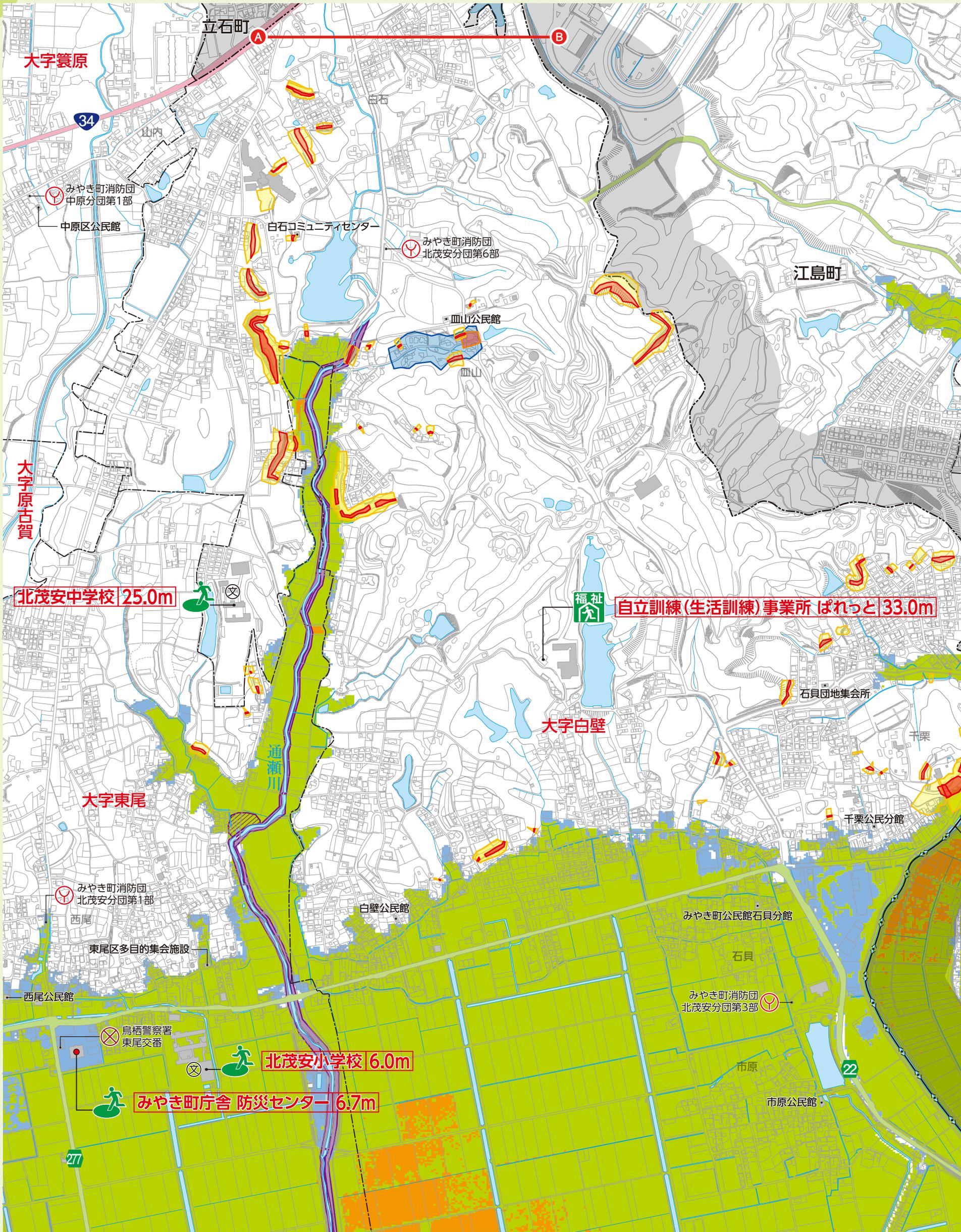
土石流	
特別警戒区域	
警戒区域	

急傾斜地の崩壊	
特別警戒区域	
警戒区域	



地図 4

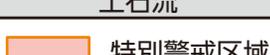
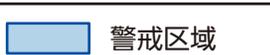
凡例		避難場所		福祉避難場所		避難場所名称		標高
		高速道路		国道		県道		町役場・分庁舎
		警察機関		消防署・消防団		学校		病院

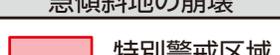
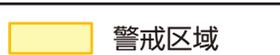


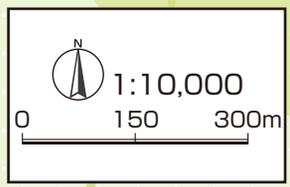
浸水深
5.0m 以上
3.0m 以上～5.0m 未満
0.5m 以上～3.0m 未満
0.5m 未満

 洪水氾濫
 河岸侵食

土砂災害の危険がある場所

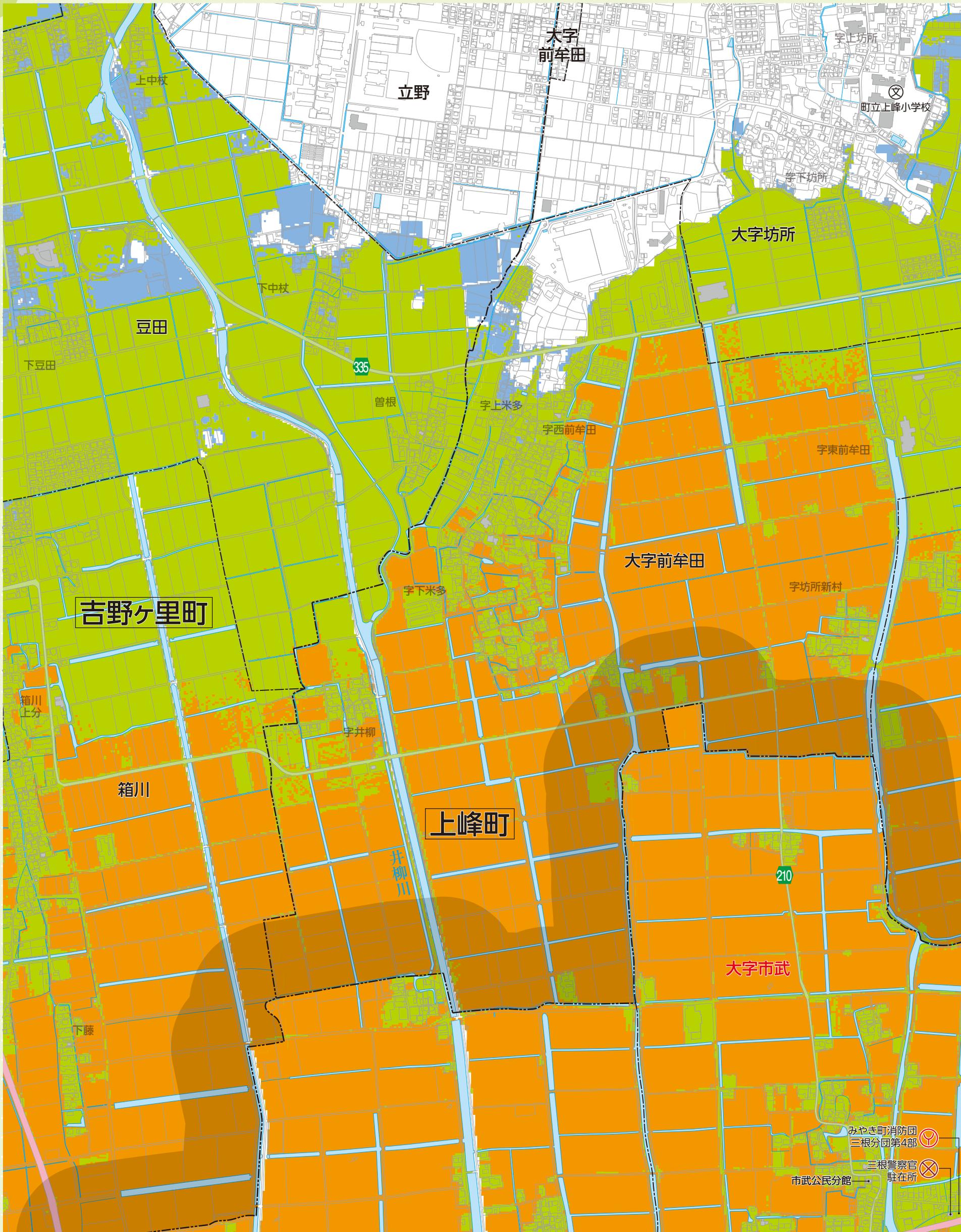
土石流
 特別警戒区域
 警戒区域

急傾斜地の崩壊
 特別警戒区域
 警戒区域



地図 5

凡例		避難場所		福祉避難場所		避難場所名称		標高
		高速道路		国道		県道		町役場・分庁舎
		警察機関		消防署・消防団		学校		病院



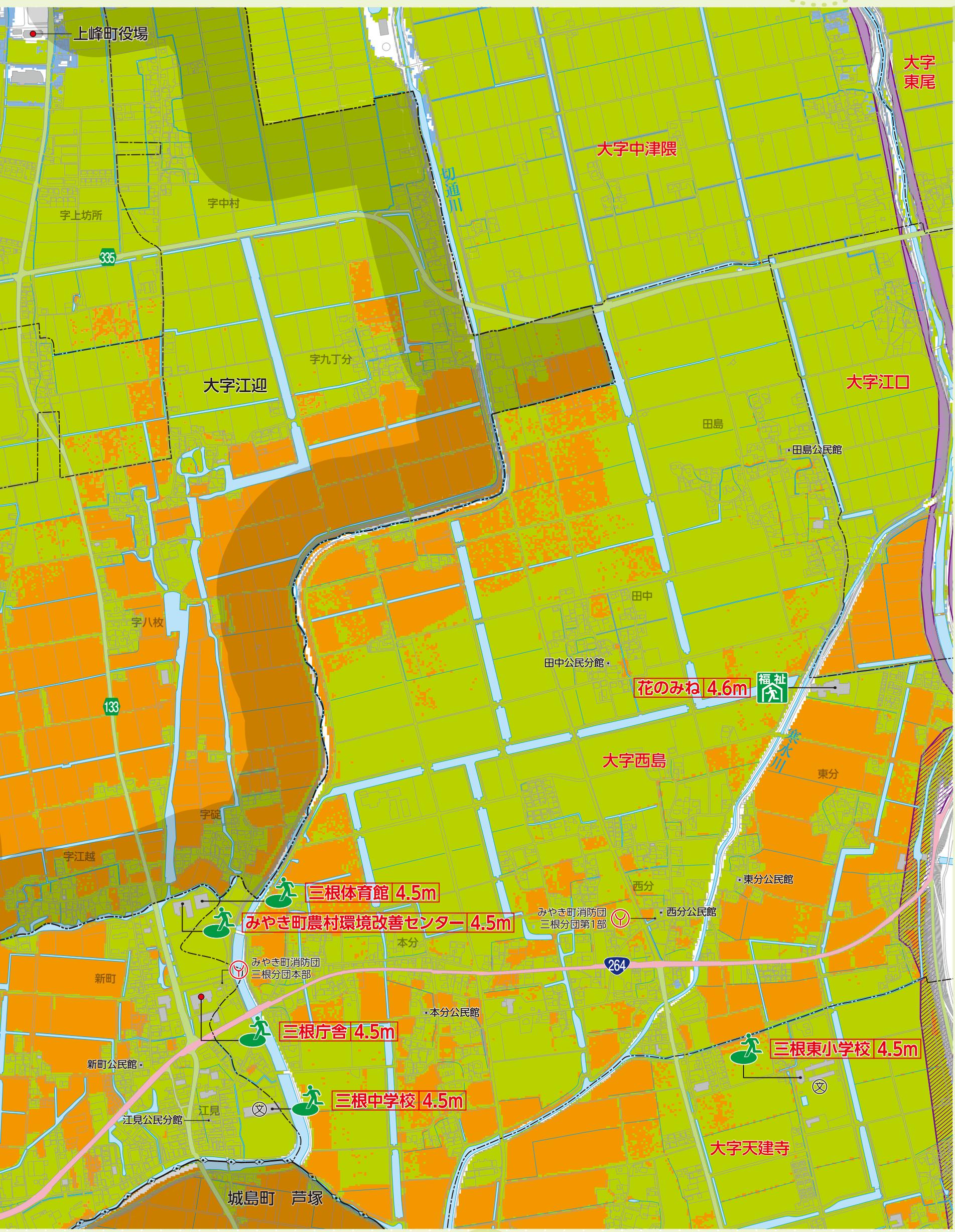
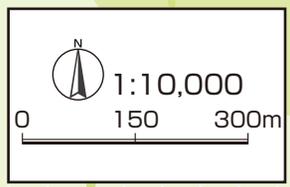
浸水深	
5.0m 以上	洪水氾濫
3.0m 以上～5.0m 未満	
0.5m 以上～3.0m 未満	河岸侵食
0.5m 未満	

洪水氾濫	
河岸侵食	

土砂災害の危険がある場所

土石流	
特別警戒区域	
警戒区域	

急傾斜地の崩壊	
特別警戒区域	
警戒区域	

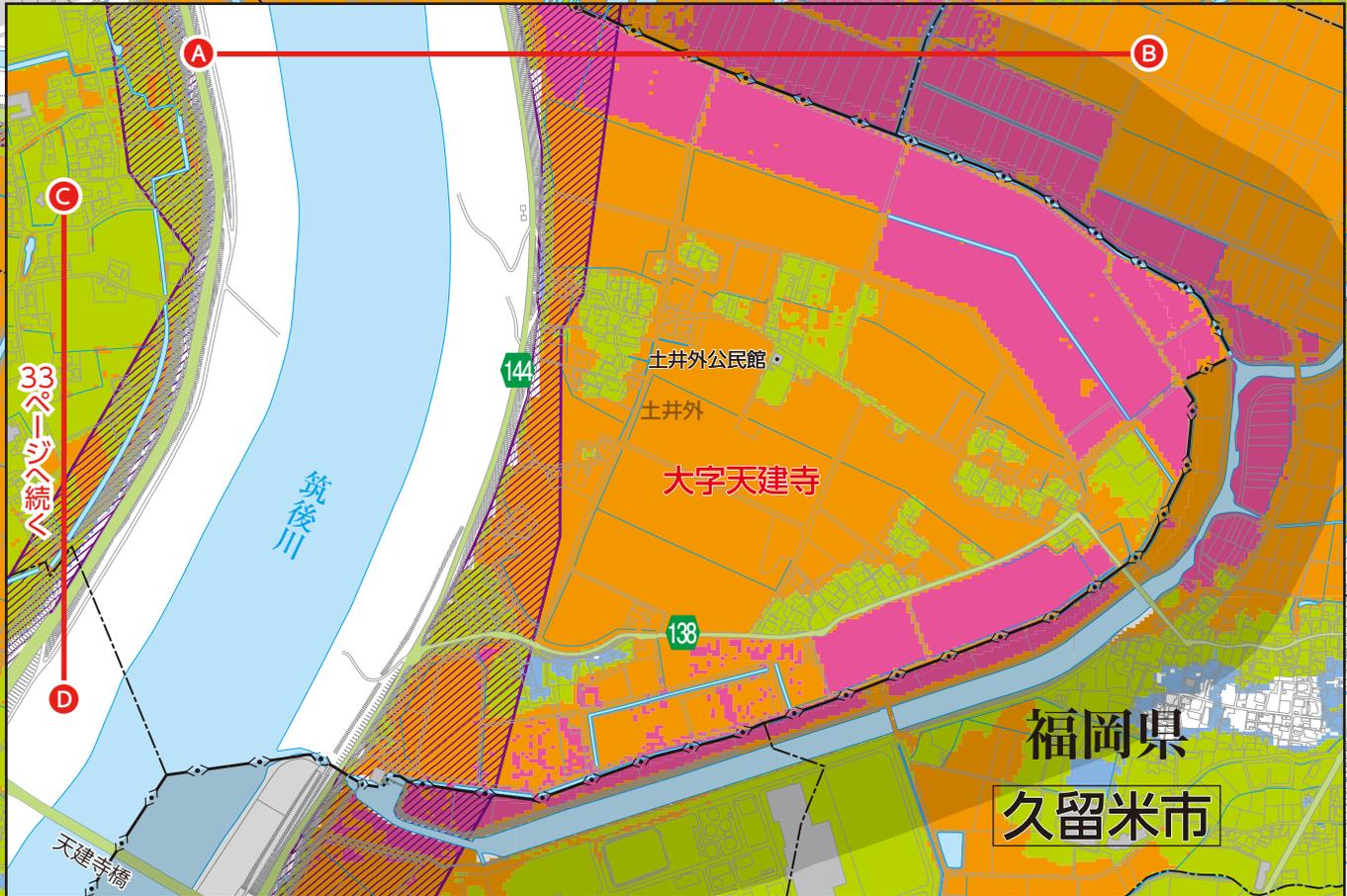
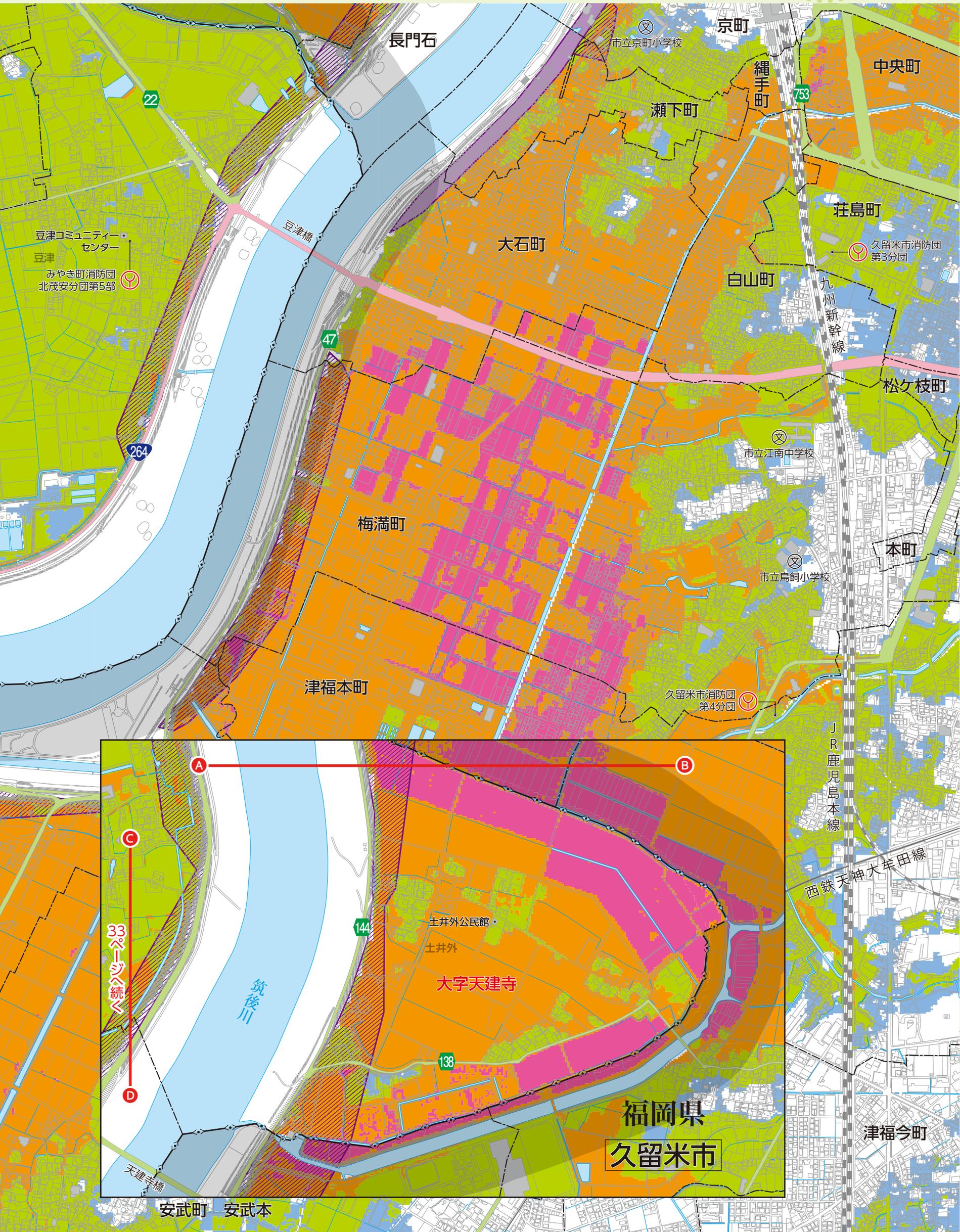
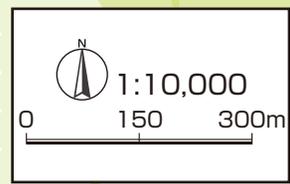


地図 6

凡例		避難場所		福祉避難場所		避難場所名称		標高
		高速道路		国道		県道		町役場・分庁舎
		警察機関		消防署・消防団		学校		病院



浸水深 5.0m 以上	洪水氾濫	土砂災害の 危険がある 場所	土石流 特別警戒区域	急傾斜地の崩壊 特別警戒区域
3.0m 以上～5.0m 未満	河岸侵食		警戒区域	警戒区域
0.5m 以上～3.0m 未満				
0.5m 未満				



地図 7

凡例		避難場所		福祉避難場所		避難場所名称		4.5m	標高	
		高速道路		34	国道		31	県道		町役場・分庁舎
		警察機関			消防署・消防団		文			病院

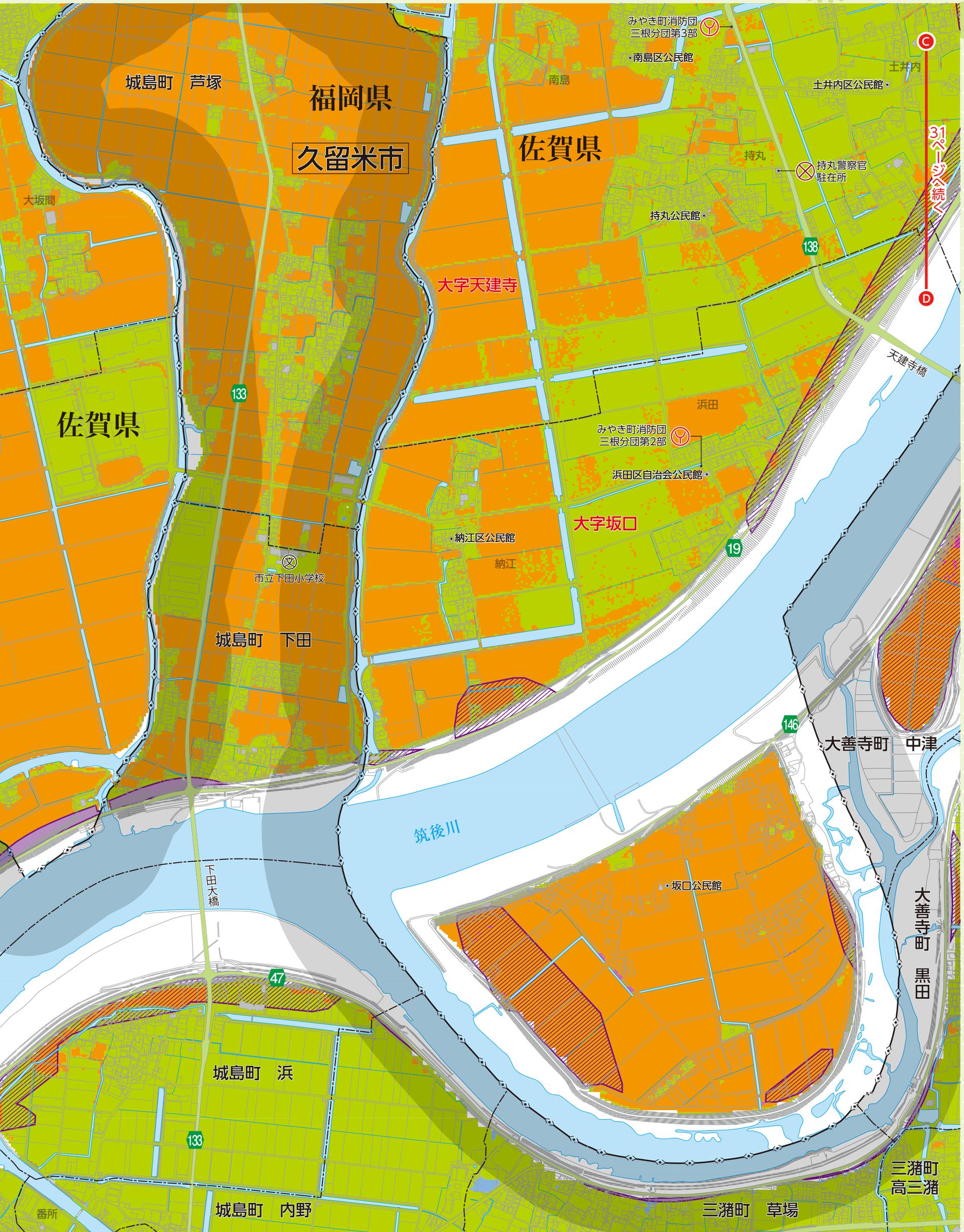
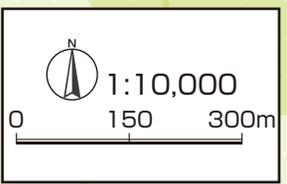


浸水深	
5.0m 以上	洪水氾濫
3.0m 以上～5.0m 未満	
0.5m 以上～3.0m 未満	
0.5m 未満	
	河岸侵食

土砂災害の危険がある場所	
--------------	--

土石流	
特別警戒区域	
警戒区域	

急傾斜地の崩壊	
特別警戒区域	
警戒区域	



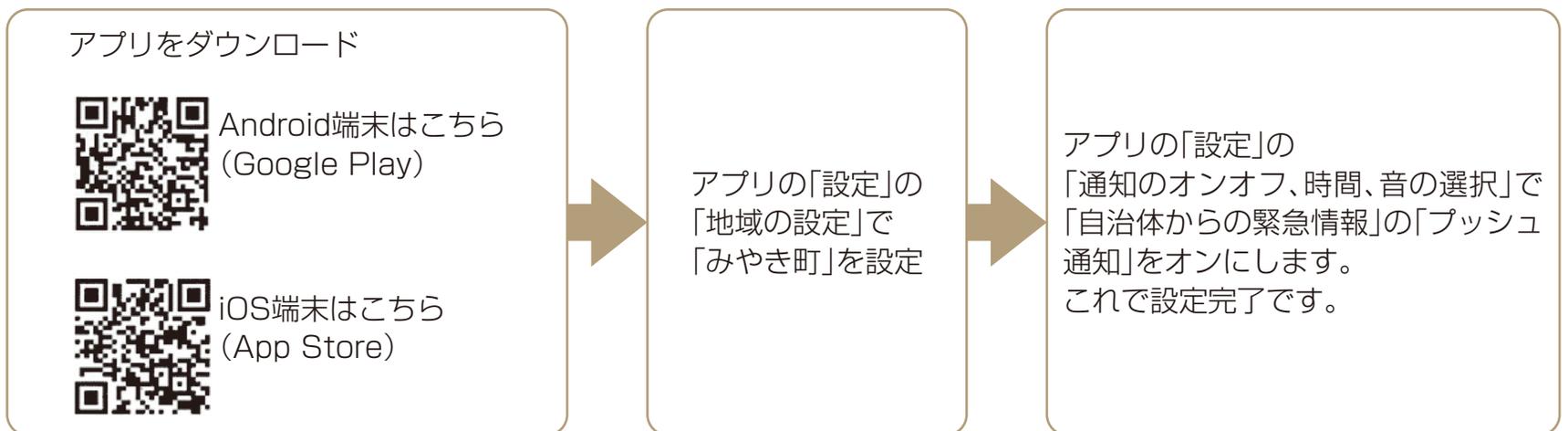
災害情報について

「防災ネットあんあん」登録方法



佐賀県では、県民の皆さんの安全・安心を確保するための一助として、携帯電話などのメール機能を使った各種防災情報などを配信するシステム「防災ネットあんあん」を運用しており、みやき町からの防災情報なども配信しています。ぜひ登録して、地域の防災活動や安全・安心の確保に役立てましょう。 QRコードは(株)デンソーウェブ登録商標です。

「Yahoo!防災速報」のダウンロード方法



みやき町は、ヤフー株式会社と災害協定を締結し、「Yahoo!防災速報」を通して町内の防災情報や避難情報などを配信しています。ぜひ登録して、ご自身やご家族の安全・安心の確保に役立てましょう。

みやき町防災行政無線応答サービス

災害情報などをお知らせする防災行政無線の放送が雨や周辺の音と重なり、聞き取りにくい場合や、聞き逃した場合にご活用ください。

- 下記番号へお電話ください。(放送内容が流れます。)
- 複数の放送は、最新の放送から順番に流れます。
- 回線が混みあっている場合は、つながりにくいことがあります。

無料ダイヤル **0120-89-1651**

緊急時の連絡先

消防・救急は**119番** 警察は**110番**

気象関係

名称	電話番号
佐賀地方気象台	0952-32-7025

警察・消防

名称	電話番号
鳥栖警察署	0942-83-2131
消防本部	0942-85-0119
西消防署	0942-89-3050
災害情報ダイヤル	0180-999-555

行政関係

名称	電話番号
みやき町役場総務課	0942-89-1651
佐賀県庁	0952-24-2111
国土交通省筑後川河川事務所	0942-33-9131

その他公共的団体

名称	電話番号
鳥栖三養基医師会	0942-83-2282
みやき町社会福祉協議会	0942-81-6161

ライフライン

(電話の故障に関することは)	電話番号
NTT西日本	0120-444-113
(電気のごとは)	電話番号
九州電力鳥栖営業所	0120-986-302
(上水道のごとは)	電話番号
佐賀東部水道企業団三養基営業所	0942-89-2868
(ガスのごとは)	電話番号
(社)佐賀県LPガス協会	0952-22-5516
(下水道のごとは)	電話番号
みやき町役場下水道課	0942-96-5535